	事業所名	デイサービスセンター和々	支援プログラム	作成日 R7 年 3 月 1 日	
法人(事業所)理念		利用される方々の意思を尊重し、一人ひとりの望む暮らしができ、活き活きと充実した生活が送れるように支援します。			
支援方針		放課後や夏休みなどの長期休暇において社会生活能力向上のための様々な体験を継続的に提供します。 様々な世代のご利用者と交流するなかで、児童の自立を促進するとともに、安心できる放課後等の居場所作りを行います。			
	営業時間	8 時 30 分から	17 時 15 分まで 送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・来所時の検温、健康観察を行います。医療的ケアが必要な児童には、主治医指示書を基に医療行為を実施します。 ・健康状態の維持や改善、日常生活動作、基本的生活スキルの獲得に向け支援します。			
	運動・感覚	・PT、OTによるリハビリを通して身体機能の維持・向上を支援します。 ・体幹トレーニングやバランスボール、トランポリン等を使った運動遊びのなかで、楽しみながらバランス感覚や空間認識の育成に向けて支援します。			
	認知・行動	・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応を支援します。 ・プリント学習により数量の概念や計算能力の習得、パズルや知育玩具を通じて問題解決能力や記憶力を育みます。			
	言語 コミュニケーション	・ソーシャルストーリーを通して社会的な適応力を養い、コミュニケーションスキルの向上を図ります。 ・1人ひとりの特性に合わせた絵カードやジェスチャー、サイン等を活用し、コミュニケーションの基礎的な能力を身につけることや安心して意思の伝達ができるよう支援します。			
	人間関係 社会性	・集団活動を通して順番や役割、ルールやマナーなどの社会生活に適応するするためのスキルや他者と協調した関わりを持てるように支援します。 ・幅広い年齢の方と過ごすことや公共の場、社会資源を活用することで地域や社会との繋がりを築きます。			
	家族支援	・保護者懇談会の実施(年に1回) ・家庭と連携し連絡帳で健康状態や状況を相互に ・子育ての困りごと等、ご家族の相談に対応しま	ξ † .	・卒業後、就労先やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、関係 機関と連携をし継続的な支援が受けられる環境を調整します。	
地域支援・地域連携		・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しま ・定期的に自立支援協議会へ参加し地域の関係機 ・実習生や見学者の受け入れを行います。	ます。 練関と連携を図ります。 職員の質の向上	・外部、内部の研修実施。(虐待防止、人権研修、感染症、自然災害BCP に関する研修) ・強度行動障がい支援養成者研修(基礎・実践研修) ・外部研修への参加や、OJTによる支援技術の向上。	
主な行事等		・季節行事(ハロウィン、クリスマス会、初詣) ・園芸活動 ・社会体験 ・おやつ作り(毎月) ・保護者との懇談会			